

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	保育実習指導Ⅱ	
科目基礎情報							
開設学科	こども学科		コース名	幼稚園教諭・保育士コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	15時間
単位数	1単位		授業形態	演習			
教科書/教材	必要に応じて資料等を配布。						
担当教員情報							
担当教員	三重野真樹			実務経験の有無・職種	有・保育士		
学習目的							
保育実習ⅠBにおける観察実習・参加実習・部分実習で学んできたことを振り返り反省・評価を行い各自の課題を見つける。保育実習Ⅱで求められている目的を理解し、事前準備を進めていくことを目的とする。保育実習Ⅱでは責任実習が実施されるため子どもの発達過程の理解や実習先の保育目標等を再度確認するとともにこどものニーズを理解し責任実習の指導計画が立案できることを目的とし、保育実習ⅠBで使用した実習日誌を参考に学びを深める。							
到達目標							
保育実習ⅠBとの違いと保育実習Ⅱの内容を理解し、自己課題をもち積極的に実践に参加し、保育に必要な知識や技術を習得することができる。 保育実習ⅠBで気付いた自己の学習の課題及び保育実習Ⅰ以降に学んだ教科の内容をもとに、新たな実習の目標を設定する。 保育士の専門性と職業倫理について説明することができる。 保育実習Ⅱに向け事前準備のため情報収集や自ら調べ工夫することができる。 責任実習の指導計画を立案することができ、指導計画をもとに模擬保育を行うことができる。							
教育方法等							
授業概要	保育実習ⅠBで学んだことを各自学生が振り返りを行い、改めて反省・評価を行い課題を確認する。保育実習Ⅰと保育実習Ⅱの継続性を理解し、保育実習Ⅱに向け模擬保育等を通して指導計画を立案、実践をしていく授業内容である。指導計画にあっては1日を想定し、立案するものとし実際に想定し事前準備から綿密に行うこととする。						
	保育実習ⅠBでの学んだことを基礎とする。課題を見つけ事前準備にあっては期限を厳守すること。指導計画にあっては創意工夫がなされているかの部分を評価する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中の私語や携帯電話の使用は厳しく指導する。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	40%	指導計画を参考に評価				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	40%	模擬保育の発表を評価				
	平常点	20%	授業態度を評価				
授業計画（1回～8回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	保育実習指導Ⅱガイダンス			保育実習Ⅱの概要と目的について理解することができる			
2回	保育実習の課題設定			保育実習ⅠBを振り返り保育実習Ⅱのわたしの課題をたてることができる			
3回	日誌の書き方			日誌の書き方を再度確認することができる			
4回	指導計画の立案			責任実習の指導計画を立案する			
5回	模擬保育発表			模擬保育を実施する			
6回	模擬保育発表			模擬保育を実施する			
7回	指導案の修正			実施した指導計画を反省・評価をもとに修正をする			
8回	実習後の流れ			実習後の流れを理解する			
9回							
10回							
11回							
12回							
13回							
14回							
15回							

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	保育実習指導Ⅱ	
科目基礎情報							
開設学科	こども学科		コース名	保育士コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	15時間
単位数	1単位		授業形態	演習			
教科書/教材	必要に応じて資料等を配布。						
担当教員情報							
担当教員	三重野真樹			実務経験の有無・職種	有・保育士		
学習目的							
保育実習ⅠBにおける観察実習・参加実習・部分実習で学んできたことを振り返り反省・評価を行い各自の課題を見つける。保育実習Ⅱで求められている目的を理解し、事前準備を進めていくことを目的とする。保育実習Ⅱでは責任実習が実施されるため子どもの発達過程の理解や実習先の保育目標等を再度確認するとともにこどものニーズを理解し責任実習の指導計画が立案できることを目的とし、保育実習ⅠBで使用した実習日誌を参考に学びを深める。							
到達目標							
保育実習ⅠBとの違いと保育実習Ⅱの内容を理解し、自己課題をもち積極的に実践に参加し、保育に必要な知識や技術を習得することができる。 保育実習ⅠBで気付いた自己の学習の課題及び保育実習Ⅰ以降に学んだ教科の内容をもとに、新たな実習の目標を設定する。 保育士の専門性と職業倫理について説明することができる。 保育実習Ⅱに向け事前準備のため情報収集や自ら調べ工夫することができる。 責任実習の指導計画を立案することができ、指導計画をもとに模擬保育を行うことができる。							
教育方法等							
授業概要	保育実習ⅠBで学んだことを各自学生が振り返りを行い、改めて反省・評価を行い課題を確認する。保育実習Ⅰと保育実習Ⅱの継続性を理解し、保育実習Ⅱに向け模擬保育等を通して指導計画を立案、実践をしていく授業内容である。指導計画にあっては1日を想定し、立案するものとし実際に想定し事前準備から綿密に行うこととする。						
	保育実習ⅠBでの学んだことを基礎とする。課題を見つけ事前準備にあっては期限を厳守すること。指導計画にあっては創意工夫がなされているかの部分を評価する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中の私語や携帯電話の使用は厳しく指導する。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	40%	指導計画を参考に評価				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	40%	模擬保育の発表を評価				
	平常点	20%	授業態度を評価				
授業計画（1回～8回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	保育実習指導Ⅱガイダンス			保育実習Ⅱの概要と目的について理解することができる			
2回	保育実習の課題設定			保育実習ⅠBを振り返り保育実習Ⅱのわたしの課題をたてることができる			
3回	日誌の書き方			日誌の書き方を再度確認することができる			
4回	指導計画の立案			責任実習の指導計画を立案する			
5回	模擬保育発表			模擬保育を実施する			
6回	模擬保育発表			模擬保育を実施する			
7回	指導案の修正			実施した指導計画を反省・評価をもとに修正をする			
8回	実習後の流れ			実習後の流れを理解する			
9回							
10回							
11回							
12回							
13回							
14回							
15回							